学校番号	３２４

平成３１年度　数学科

教科	数　学	科目	数学Ａ	単位数	1	年次	1
使用教科書	改訂「新　数学Ａ」　（東京書籍）						
副教材等	ニューファースト　改訂「新　数学Ａ」（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、習熟度別に、１つのクラスを２つに分割して行います。
・プリント用ファイルを一冊用意してください。
・課題は、定期的に提出してもらいます(テスト前等)。
・平常点は、課題提出、授業態度、出席状況から算出します。

2　学習の到達目標

場合の数と確率、図形の性質についての基礎的な知識や技能を習得します。また、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにします。さらに、それらを活用する態度を身に付けることを目標とします。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	場合の数と確率、図形の性質の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	事象を数学的に考察し、表現したり、思考の過程を振り返り多面的･発展的に考えたりすることなどを通して場合の数と確率、図形の性質における数学的な見方や考え方を身に付けている。	場合の数と確率、図形の性質において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	場合の数と確率、図形の性質における基本的な概念、原理･法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
評価方法	・小テスト ・ノート提出 ・課題提出 ・観察等	・小テスト ・定期考査 ・課題提出 ・観察等	・小テスト ・定期考査 ・課題提出 ・観察等	・小テスト ・定期考査 ・課題提出 ・観察等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	内容	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
1学期	場合の数と確率	集合	集合	○	○			a:集合と要素の関係を捉え、それらを具体的な事象の考察に活用しようとしている。 b:集合の記号を用いて概念の一般化、明確化をすることができる。 c:和集合や補集合の要素の個数を求めることができる。 d: 集合の包含関係を理解し、場合の数や要素の個数を立式して求めることができる。	小テスト 授業プリント提出、 課題提出 定期考査
			集合の要素と個数			○	○		
			和の法則と積の法則	○		○	○		
		順列	順列	○				a:さまざまな事象の場合の数を、日常の物事に置き換えながら取り組むことができる。 b:重複順列や円順列を、見方を変えながら、立式できるように対応さていくことができる。 c:様々な条件の順列の違いを理解し、立式することができる。 d:条件に合った順列を把握し、立式して場合の数を求めることができる。	
			順列の利用	○	○	○	○		
			重複順列		○	○	○		
			円順列			○	○		
2学期		組合せ	組合せ	○				a:さまざまな事象の場合の数を、日常の物事に置き換えながら取り組むことができる。 b:道順の問題や場合の数の問題を組合せの考え方で捉えることができる。 c:様々な条件の組合せの違いを理解し、立式することができる。 d:条件に合ったを組合せを把握し、立式して場合の数を求めることができる。	小テスト 授業プリント提出、 課題提出 定期考査
			組合せの利用	○	○	○	○		
		確率	確率の計算		○		○	a:条件つき確率の乗法定理に関心をもち、積極的に活用しようとする。 b: 集合の考えを踏まえ、事象の状況を把握することができる。 c: 独立な試行の確率や、反復試行の確率を集合に結び付けて立式することができる。 d: 確率の計算に集合の考え方を活用し、解くことが出来る。	
			独立な試行の確率		○	○			
			反復試行の確率		○	○			
			条件つき確率	○	○		○		
3学期	図形の性質	円の性質	円周角の定理	○		○	○	a:様々な角度から図形を見ることで、積極的に図形を捉えようとしている。 b:円に四角形が内接するための条件を考察しようとする。 c: その場に応じた図形の捉え方を理解し、必要な情報を取捨選択することができる。 d:条件から図形の状態を論理的に把握し、どのような求め方ができるかを説明することができる。	小テスト 授業プリント提出、 課題提出 定期考査
			円に内接する四角形	○	○	○	○		
			接線と弦のつくる角	○		○	○		
			方べきの定理	○			○		

※ 表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：数学的な見方や考え方
c：数学的な技能　d：知識・理解

※ 原則として一つの単元（教材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。